

## はなバスの改善策の検討案について

### 1. はなバスの改善策の進め方

#### 【利用実績や地域利用者の意向を踏まえた改善策の検討】

- ・ 利用実績より、利用状況が悪い大型連休等の運行ダイヤの見直し
- ・ 市民がはなバスの情報（収支状況など）を知る機会の創出
- ・ 利用者や地域の意見を反映した改善策

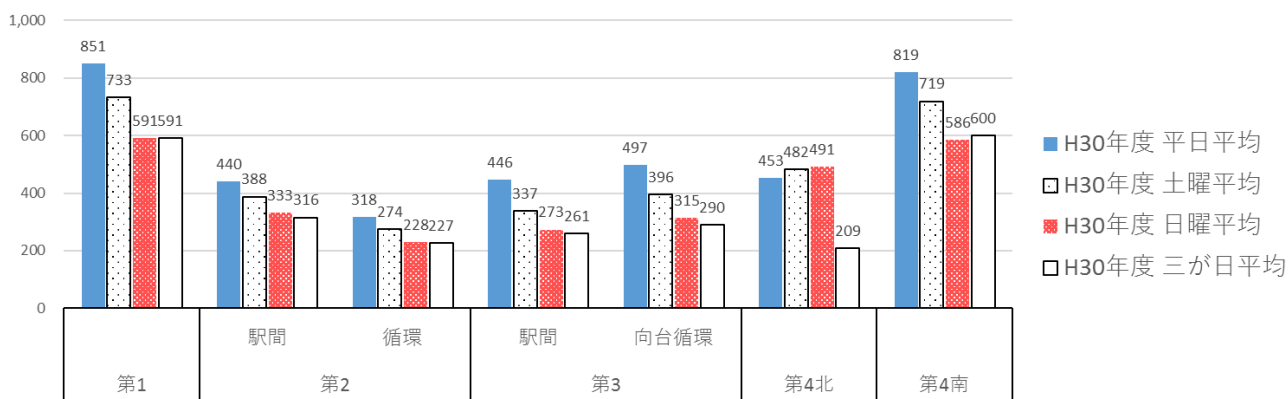
### 2. 当面の取組について

#### 2-1. 特別ダイヤの導入

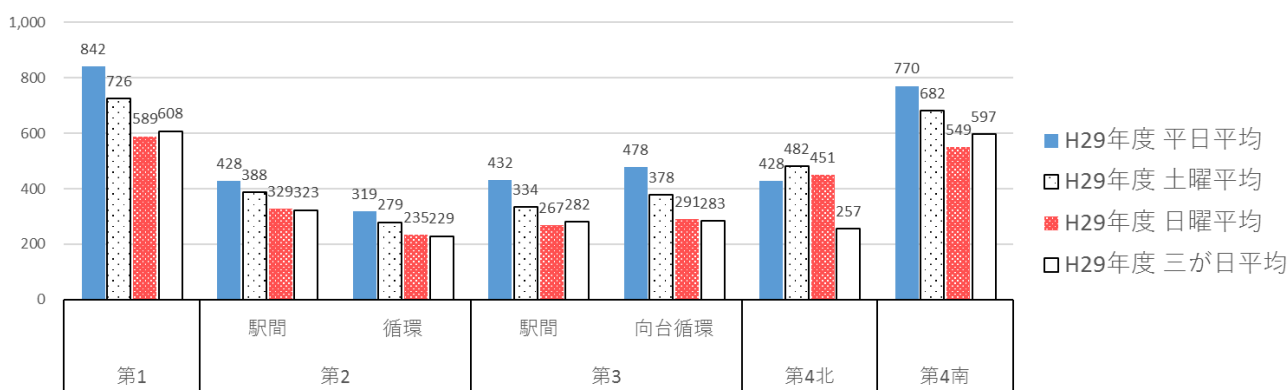
はなバスは、土休日も全日ダイヤで運行している（第4北ルートを除く）ことから、今後は利用実績を把握した上で、運行の効率化を図る取組を行う。特に年末年始の期間については、過去の利用実績から、はなバスの利用者数が減少するため、今年度については、年始に特別ダイヤ（以下、「正月ダイヤ」という。）を試験的に導入し、今後の検討に活かしていきたい。

#### 【平日・土曜・日曜及び正月三が日における平均利用者数の実績比較】

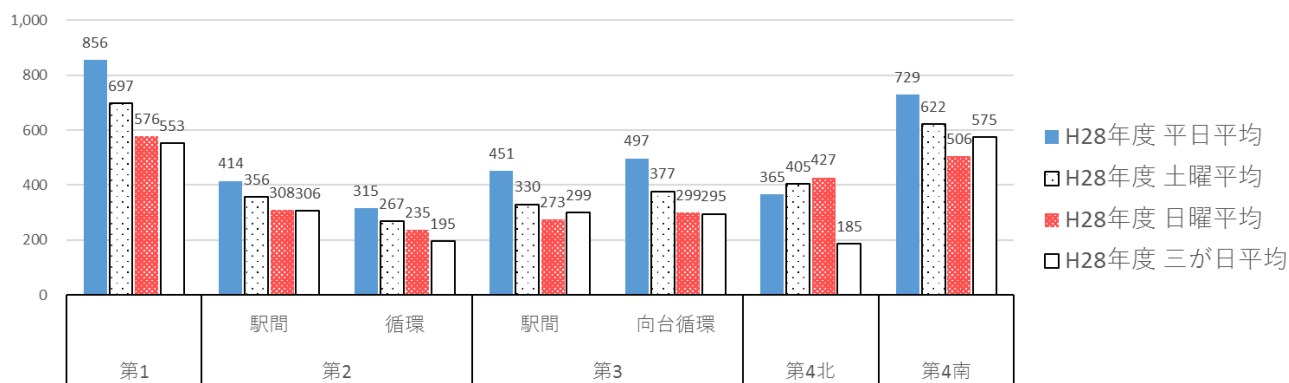
< H30 年度実績（単位：人/日） >



< H29 年度実績（単位：人/日） >



## <H28年度（単位：人/日）>



### 2-2. 実施期間

令和2年1月1日（水）から1月3日（金）まで（計3日間）

### 2-3. 今後について

- ・ 運行事業者と調整の上、利用実績に基づいたダイヤを編成
- ・ 正月ダイヤ実施後の利用者の意見聴取の機会を検討

## 3. 今後の段階的な対応の方向性について

### 3-1. 基本的な考え方

平成30年度に実施したOD調査の結果からは、平日と比較し土休日の利用者数が少ない傾向があり、特に始発・終発の利用者数が少ないことが明らかとなった。このことから、土休日ダイヤの導入を検討することで経費の削減を図りたい。また、ダイヤ改正を何度も行うことは、利用者の混乱を招くことから、平日のダイヤの改正についても併せて検討を進めることとしたい。

なお、ダイヤ改正に向けては、OD調査の平日・休日の特定の1日のデータだけでなく、運行事業者と情報共有を図りながらデータを収集し、事前にダイヤ改正の必要性について検証を進める。

また、利用者アンケート等を実施し、利用時間などを把握することで、利用者の少ない時間の便数を減らし、多い時間の便数を増やすなどの検討も併せて進めることとしたい。

### 3-2. 今後の段階的な対応

はなバスの運行目的を踏まえ、地域に根付いた公共交通を目指す

- ・ 利用実態に合わせた土休日ダイヤの導入などを検討・実施
- ・ 地域や利用者の意見を反映させた利用時間帯のダイヤ編成を検討
- ・ 地域との意見交換の実施や沿線周辺地域の公共施設や商店街などとの連携を図る

大枠の取組内容	短期 (1～2年)	中期 (3～4年)	長期
経費削減に向けた取組	ダイヤ改正・土休日ダイヤの導入の検討、実施	短期の取組の効果検証	検証結果を踏まえ、再度対応策を検討、実施
地域や利用者の意見を反映させるための取組	<ul style="list-style-type: none"> <li>・収支状況の広報</li> <li>・利用者アンケート</li> <li>・パターンダイヤ等の検討</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・収支状況の広報</li> <li>・沿線地域との意見交換</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・収支状況の広報</li> <li>・路線周辺地域アンケートの実施</li> <li>・沿線地域との意見交換</li> </ul>
期待される効果	利用実態及び地域や利用者の意見を反映したダイヤ編成により、効率の良い運行が可能		地域としての運行の必要性を把握。地域に根付いた運行へ

### 3-3. 短期の取組内容

短期	早期に着手できる取組を実施
	(1) 経費削減に向けた取組：ダイヤ改正・土休日ダイヤの導入の検討、実施
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平日と比較し、利用者が少ない土休日を対象に、土休日ダイヤの導入を検討、実施</li> <li>・利用実態に合わせたダイヤ改正の検討、実施</li> </ul> <ol style="list-style-type: none"> <li>① 平日ダイヤの改正（ピーク時の増便、始発終発の見直し）</li> <li>② 土休日の始発・終発便の時間帯を変更</li> <li>③ 土休日の利用実態に合わせ運行間隔や運行本数を調整</li> <li>④ 年末年始等の大型連休時の臨時ダイヤを検討</li> </ol>
	(2) 地域や利用者の意見を反映させるための取組
	<ol style="list-style-type: none"> <li>① はなバスの収支状況等の現状について、情報を広く周知する</li> <li>② 利用者の意向を把握するため、利用者アンケートや意見交換の実施</li> </ol>

### 3-4. 短期の取組に向けた考え方について

区間	評価基準に基づく達成度			沿線状況の変化要因 (整備中又は整備予定の道路等)
	収支率	乗車回数	評価区分	
第1	○	×	B	区道67号線の完成(R3年度内を予定)後、みどりバス(練馬区コミュニティバス)が保谷駅北口に乗入予定
第2	主軸	○	×	保谷庁舎の機能移転に伴う利用者の減少が予想される(R2.2月より移転開始)
	課題A	×	×	
	課題B	○	×	
第3	主軸	○	○	田無駅南口駅前ロータリー整備(R4年度内を予定)
	課題	×	×	
第4北	×	○	C	都市計画道路3・4・26号線の完成(R4年度内を予定)
第4南	主軸	○	○	田無駅南口駅前ロータリー整備(R4年度内を予定)
	課題	×	×	

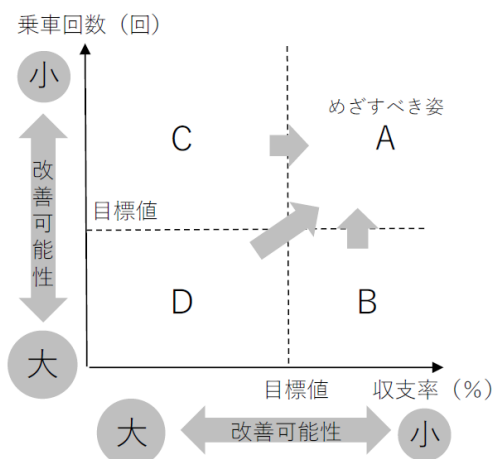
#### 収支率・乗車回数のいずれも目標値に達していない

##### 区間(ルート)から取り組む内容

- ・経費削減に向けた取組  
ダイヤ改正の検討に向けた取組
- ・地域や利用者の意見を反映させる取組  
利用者アンケートの実施

##### 全ルートに共通して取り組む内容

- ・地域や利用者の意見を反映させる取組  
収支状況等の現状について、情報を広く周知する



### 4. 今後の公共交通会議について

#### ◆議論したい内容

令和元年度 第3回(今回)	今後の取組の大枠の方向性について議論
令和元年度 第4回(次回)	短期の取組の具体的な内容について議論